

一九七七年二月一日第三種郵便物認可

発行所 社会通信社 発行人 滝野 忠

e-mail: shakatsushin@nifty.com

東京都渋谷区本町六丁目二八の二コーポビル九〇四 電話(03)3337714649 FAX(03)3329915367
振替 〇〇一〇〇一九一五八四三二 労金 中央労金本店 No.1154163

購読料 月額700円 6カ月前納制

〈もくじ〉

■巻頭言■

衆院で三分の一勢力をめざす

藤原 了……………2

私の対抗戦略(下)

交通バリアフリーは社会参加の基本

滝野 嘉津子……………3

—「JR新宿駅の安全とバリアフリーを考える会」で学んだもの—

アメリカの強み(=地方自治)に

神戸 育郎……………5

揺さぶられるブッシュ

—アメリカ大統領選挙結果・直後の感想—

日本労働運動の命運をにぎる……………8

—鉄建公団訴訟闘争に全力支援を—

「これが反合闘争といえるのか」の悩みの中で 北島 清仁……………9

—赤峰さんの巻頭言から—

「こんなことになるなら 稲村 守……………10

地震前に死んどけばよかった」

—新潟県中越地震被災地に救援物資を届ける—

読者からのおたより……………13 編集部だより……………10

旬刊 社会通信

NO. 918

二〇〇四年二月二日号

二〇〇四年二月二日発行
(毎月一日・二日・三日三回発行)

衆院で三分の一勢力をめざす

私の対抗戦略(下)

問題点 どうしたら、敵の戦略に対抗できるだろうか。現状の我々は保守二大政党のなすがままに法定されるかたちで、賃金労働条件・身分・雇用までやられっぱなしの状態にある。どこに問題があるのか。

答えは簡単である。小選挙区制度の下で労働者がバラバラに分裂して出馬すれば必ずどちらかの保守勢力にトップを奪われてしまう。三〇〇小選挙区に労働者共同候補を擁立できるまで、この苦闘は続く。敵は、労働者

は決して一本化できないと見てびびっている。ここに全ての穴がある。もし、三〇〇小選挙区統一名簿ができるなら、そして、保守分裂で小選挙区に出馬したら負けそうな予想が立つならば、自由民主党と民主自由党は合併するであろう。実際の人数は少数の「勝ち組」が多数の「負け組」を支配する構造は続けられない。小選挙区制は鮮やかな政治的逆転をもたらす装置にもなる。小選挙区制は労働者の政府を可能にする。もし、労働者が細かい意見の食い違いを先送りすることに成功すれば、必ず勝てる。

国際連帯 韓国の民主労働党は今年初めて国会に議席を得た。二〇一二年政権獲得を公約している。その公約にどのような背景があるかはわからないが、まず政権奪取を宣言して、そこから議席ゼロの国会に三%の議席を得た。韓国に労働者政権ができた場合、労働者保護行政を進めれば国際競争力は落ちる。韓国単独では労働者政権は崩壊させられるだろう。

日本も、同じ頃に労働者政権を成立させるなら、事態は変わってくる。これに現在山猫ストを闘っている中国の労働者勢力が政治結社を創って加わってくるなら、なおのこと日中韓の労働者保護政権は安定する。EUの労働組合やアメリカのAFL・CIOとも連帯してゆかねばならない。最終的にはグローバルな労働者世界組織が必要である。労働の世界標準だけが欠けているのである。

当面二〇〇七年に平和憲法改悪国民投票が準備されている。この危機をバネに労働者勢力が一本化するならば、敵のシナリオは崩れる。まず、衆議院で三分の一勢力を目指そう。廃県も、官業払い下げもそこからは進ませない。逆に、労働者保護法制の整備を進め、アングロサクソンを除くヨーロッパ並みの安定した社会を展望することも可能となる。日本がいつから資本主義になったとかというような、これまで対立してきた論点は全て棚上げにして、それらの問題は労働者が安心して暮らせるようになったとき、落ち着いて議論すればよいことである。

統一名簿をつくる 三〇〇小選挙区統一名簿は二〇〇七年衆参同日選挙及び改憲国民投票実施となった場合を想定して、二〇〇六年中に作成しなければならぬ。二〇〇五年の間は、労働者各党派が「敵の長期戦略」を検討し、「対抗戦略」を各自の頭で練る期間である。とするならば、二〇〇四年は三〇〇小選挙区統一名簿に向けて、労働者各党派に連絡先をつくる必要がある。

二〇〇七年の名簿は必ずしも労働者統一名簿である必要はない。自民党にも改憲反対議員が存在するし、民主党の中にも改憲反対議員がごく少数だが存在する。彼らについては市民アンケートで回答を迫り三〇〇名簿に加えることで、労働側の負担も減少する。二〇〇

〇四参議院選挙での沖繩方式も模索すべきである。

三〇〇小選挙区で統一名簿ができるのであれば、参議院選挙区も比例区も統一名簿もで

きるはずである。また、特別市が発足した場合、政令指定都市の県会議員が特別市の市会議員選挙に参入してくる。ここでも、統一名簿が作成されなくては古い革新系の弱小勢力は「押し出し」を食らうことになる。

コーディネーター この取り組みには「公平性・中立性」を持ったコーディネーターが必要となる。各党派の利害を調整できなければ立候補者統一名簿をつくることはできない。この仕事は労働組合の範疇を超えているし、政党の範疇も超えている。しかし、誰かがコーディネーターにならなくては進まない。

そして、もしその作業が進むならば日本の労働者にとって明るい未来が見えてくる。同時に、東アジアでの労働者保護政府群を形成し、EU、アメリカ労働運動とも連帯すること、新市場主義の跋扈（ばっこ）を押さえ込むことにつながってゆく。つまり、労働の国際標準を高い水準で担保できるようになる。

そのときには、デイ・レギュレーション政府ではなく、リ・レギュレーション政府が各国でできているであろう。資本主義の下で労働者が資本の増殖を抑え、拡大再生産から単純再生産へソフトランディングを目指すのである。

（兵庫自治体労働運動研究会・藤原 了）

交通バリアフリーは社会参加の基本

—「JR新宿駅の安全とバリアフリーを考える会」で学んだもの—

一号機運転開始 乗降者数一五〇万人の日本一、世界一のJR新宿駅にはエレベーターが一台もありませんでした。車いすやベビーカー使用者、高齢者、杖利用の方やケガをしている方、大きな荷物を持った利用者らにとってJR新宿駅はきわめて危険で不便な駅です。たくさんさんの車いすの使用者がエスカレーター上の事故でケガをしたり、車いすを破損したり、介助するJR社員の方も事故によるケガ人が連発してきました。それでも、交通バリアフリー法施行後であっても、JR新宿駅にエレベーターが設置されるのは、駅の改良工事が終了する一〇年後とされていました。それまでは「構造上・技術的に不可能」とされています。

そうした中で、昨年七月、エスカレーター上で車いす介助中、JR新宿駅の駅員さんが労災事故にあったのをきっかけに、「JR新宿駅の安全とバリアフリーを考える会」が結成されました。「会」はしつこい当事者の方々と交流し、JR新宿駅利用アンケート調査に取り組み、JR東日本への要請行動、国土交通省への交渉やJR新宿駅頭での宣伝活動、JR東日本の株主総会への問題提起など多彩な取り組みを行ってきました。

これらの取り組みは新聞各紙にも取り上げられ「新宿駅にエレベーターがないなんて信じられない」「JRは何をやっているのか」という世論が高まりました。追い詰められたJRはついに今年三月、「全ホームに二年間以内にエレベーターを設置する」と発表し、その第一号機が九月から運転開始しました。「一〇年先」の話が「二年以内」に一挙に短縮されたように思います。

市民、学識経験者、車いす使用者の結集と、新宿区内の労働者のみなさん、西部全労協、鉄建公団裁判をたたかう方々、JR新宿駅利用アンケート調査の取り組みにご協力いただいた方々の応援によって世論を動かし、課題を残しながらも、大きな成果をあげることができたと思われまます。

しつこい者は水先案内人 他方、新宿区は「交通バリアフリー基本構想策定協議会」を設置し、重点地区を新宿駅・新宿三丁目周辺、高田馬場周辺地区と決定。区の都市計画課

の方々、しょうがい当事者や公募の市民、交通事業者らが一緒になって、駅や街歩きをし、問題点や改善点を整理しはじめました。「せめて少なくとも一五人以上乗れストレッチャー対応のエレベーターを！」「一つのホームに複数のエレベーターを！」「ホームと車輛の隙間と段差の解消を！」「転落防止のホームドアを！」「わかりやすい案内を！」「乗り継ぎルートのバリアフリー化を！」等々たくさん意見・要望・提言が出されています。

しょうがい当事者のみなさんは、一九六〇年代後半から七〇年代初頭、人格も自由もプライベートも無視・制限されてきた施設での生活、大人になっても家族に依存して暮らす在宅での「やっかい者扱い」の生活、憐れみと恩恵の福祉、そうした状況から抜け出すために自立と人権の確立を求める運動に立ち上がりました。

また、一九八一年からスタートした国際障害者年の「完全参加と平等」は、自立と社会参加、ノーマライゼーションの理念を広め、社会全体にまちづくりへの関心を高めることにもなりました。しかし、道路や公共交通機関にバリア（壁）が多く、車いすや白杖で移動するにはあまりにも酷く、社会参加は容易ならざるものでした。過酷な移動・交通環境のなかで、しょうがい者は死ぬような思いでバスや電車を利用し、用意された階段昇降機が見るからに危険と思われるも怖い気持ちを押し殺して、また、事故に遭いながらもそれを利用して、その改善や接遇の工夫を求めつづけてきました。

家に引きこもって寝たきりになり、生きている証「喜怒哀楽」の情を失い「殺してくれ！」と叫び苦しんでいる人も大勢あったことでしょう。高齢者も同じです。しょうがい者は高齢社会の水先案内人といえると思います。

人間生活には「衣・食・住」が必要不可欠ですが、社会参加には「移動・交通」が安全・快適なものでなければなりません。また、駅は都市の中心ですし、都市と人の結節点、都市のシンボルでもあります。障害をもった方や高齢者など移動制約者を排除している日本の現実には辛く悲しい。「いつでも誰でも平等に安心して利用できる潤いのある駅に！」、これをJR新宿駅利用のみなさんと一緒に力を合わせて実現したいと思います。

集會にご参加を！ 左記「集い」は、この経験から学んだことなどを報告します。問題提起者の甲斐淳二さんはJR新宿駅車いす介助チームの駅員さんで介助中に腰痛捻挫の労災にあい、未だ通院中です。しょうがい当事者の今福義明さんは電動車いすで全国各地の駅や鉄道、バス、その他の乗り物を利用して、行く先々で出会った様々なバリアをくまなく指摘し、実地検証し、全国の仲間たちに発信する日常生活に密着した交通バリアフリー運動を展開しています。その指摘や発言は交通機関で働く人々や事業者への問題提起として貴重なものです。（JR新宿駅の安全とバリアフリーを考える会世話人・滝野 嘉津子）

「JR新宿駅の安全とバリアフリーを考える集い」

▽日時 二〇〇四年十二月十一日（土）午後一時三〇分～四時三〇分

▽内容 問題提起

甲斐淳二（JR新宿駅勤務）

今福義明（バリアフリーコーディネーター・しょうがい当事者）

自由討論

▽場所 新宿区立区民ギャラリー二階 環境学習情報センター研修室

東京都新宿区西新宿二―十一―四 新宿中央公園内

電話番号 〇三―三三―四八―六二七

▽主催 「JR新宿駅の安全とバリアフリーを考える会」（賛同人代表 橋幸英）
新宿駅（西口から徒歩一五分）、地下鉄大江戸線（都庁前駅から徒歩五分）

アメリカの強み（＝地方自治）に揺さぶられるブッシュ

—アメリカ大統領選挙結果・直後の感想—

ブッシュ3つの選択肢

アメリカ大統領選挙はブッシュの辛勝に終わった。史上これほど対外政策が争点になった選挙はなかった。しかも六〇%にのぼる投票率である。

私はこれがブッシュの首をこれから締め上げていくと思う。

これにより対アフガニスタン、イラク戦争の「成功」を演出し続けなければならない。事実、彼は勝利演説で対イラク戦争を自賛した。国内の矛盾はますます増大するであろう。

次の段階にどう対応していくのだろうか？大雑把に分けて、三つが考えられる。

- 1、対外的には単独行動主義を改め、協調主義に転じ、アフガニスタン、イラクの地道な復興の道を開き、自らも油を注いだ形になったパレスティナ問題の平和的解決への糸口をつかんでいく。一方、国内では大幅減税政策を改め、極端に悪化した財政の再建に取り組み、連邦政府から地方政府に資金が流れる道筋を開く。
 - 2、突如、モンロー主義に引きこもり、巨額の財政赤字解消策に転じ、かつ破綻に瀕した地方政府への大々的な援助を始める。
 - 3、これまでの国際的には単独行動、国内では徹底的な自立自助を称揚し、ほころびへの援助は民間に委ねるといふ政策を継続する。
- 以上である。

マスコミが報じるところからすると、二期目の大統領は三期目がないので国民の支持率をあまり気にすることなく、一期目の路線を変更して柔軟な政策を遂行していくことができるので対外的に協調主義への転換もありうるという。しかし、あの強面の Cheney 副大統領はもちろんそのままに、柔軟にみえるパウエル国務長官の去就が云々されている。また、RAM (Revolution in Affairs on Military・軍事革命) を強力に推進しているラムズフェルド国防長官をすげ替えることはあっても、対外強硬派が主導する米軍の現状は継続していくことになるう。

とすると、アメリカの軍人が何をやろうと国際的な機構の下での裁判など受け入れられない、という国際司法裁判所を否定するような、「アメリカは特別」という意識をもって国際的に行動する、ならず者ぶりに変化はないものと思われる。1も2もなく3である。

〇二年ブッシュ「一般教書」

なぜ、こうなるのか。それは国内に鍵があり、そして国内状況に冷静な眼を向けさせないために、国際的に我が者顔に振る舞い続けたいからである。その考え方がもっとも端的に現れているのが、九・一一の翌年、二〇〇二年一月にブッシュが行った一般教書演説である。

これは「悪の枢軸」論として世界中を駆け巡った。だが、教書の構成は次のようになっ

ていた。「1、テロに対する戦いについて、2、財政について、3、経済について、4、ボランティアサービスについて、5、敵対の解消」(「ニューヨークタイムズ」以下、「N・Y・T」と略す—による)。

ブッシュは教書でテロ、悪の枢軸についてだけを述べたのではない、5を除いてそれぞれほぼ均等に述べたのである。演説中、テロリズムという用語は三五回使われたが、次に多かったのはJobの二三回であった。そしてマスコミは確かに、悪の枢軸とともに就労機会の増大についても触れていることを報じた。しかし、「ボランティア」については教書要旨で若干紹介したところもあったが、論評に取り上げることはなかった(イギリスの「エコノミスト」は取り上げて論じた)。

あの当時、教書全文を一読した私の感想は以下のようなものであった。

『教書』がそのまま実現すると、軍事と警察に集中し、経済政策は富裕層のためにのみあり、環境破壊を促進する一方、社会問題、国際問題までボランティアで対応しようとする、究極の『警察国家』が出現する。が、景気刺激策が頓挫したように、これを現実化させない勢力が強力に存在していることも確かなことだ」(拙著『テロと共存するブッシュ政権』九頁、しらかば工房、二〇〇二年四月刊)。

「ボランティア(勤労働員)」で赤字解消!?

あの教書の中で唯一数字を掲げて、国民全体への具体的要請が行われていたのが「ボランティア」の項であり、これが「悪の枢軸」の絶叫と対応していたのである。

いわく、「すべての米国民に残りの一生の二年間、四千時間を地域とわが国へのサービスへ費やして欲しい」・・・「ピースコーアはアメリカコーアやシニアコーアの素晴らしき努力を拡大、発展させ二十万人以上の新規ボランティアを結集することになる」、
「今後五年間にボランティアを倍増・・・」。これをどこへ?危機管理時は言うに及ばず、コミュニティの再建や才能ある教師を必要としている学校や、米国の情熱を世界に広げるための国際援助活動へとあつた。

すべての米国民(人口:約二億七千五百万人)が一生のうち四千時間働くと、一兆一十億時間となる。人が一日八時間、年二百五十日、四十年間働くとすると、これは述べべ一三五七五万人となる。また二〇万人が同様に働き、時給二千円で換算すると八兆円となる、四〇万人で十六兆円である。この金額は価値として実現することはない。

お二人の高齢の碩学はこれをして「勤労働員だな」と異口同音におっしゃった。

要するに、国内外に山積する本来ならきちんと財政出動すべき問題を、勤労働員体制で乗り切ろうとしていたのである。これを遂行するために、空疎な論理付けで「悪の枢軸」をでっち上げ、9・11で発揮された美德を持ち上げた上に宗教色をたっぷり含みこませてボランティアを説いたのである。そしてこれはあいまいな論理、証拠をもってイラクへの進軍にまで至り、アメリカ国内をさらに荒廃させているのである。これへの反発がケリーの四九%の得票率だったのである。

アメリカの地方自治

大統領選挙の結果、アメリカの国内状況は十一月四日付けの『朝日』の州別勝敗を色分けした地図によく現れている。西海岸・東北部海岸部、カナダ国境沿いはケリーの青色、中南部および南部西岸はブッシュの赤色ときれいに色分けられた。比較的外部との交渉をもち、地方自治のより根付いた地域でケリーは勝ち、ブッシュの勝った州はあまり外部と接触せず、地方新聞やケーブルテレビは退役軍人が幹部として居座っている地域である。だが、ここにも自治が根付いていることが肝心なところである。

アメリカの自治の発祥の地であり、今でもその伝統を堅持しているニューイングランドと呼ばれる六州の各候補の得票率は表にある通りである。この地域ではケリーが圧勝しているのである。

『アメリカの地方自治』(二〇〇四年六月刊、小滝敏之著、第一法規)によると、「アメリカの地方政府や地域住民はイギリスにおける以上に自主独立の精神を保持しており、中央と対立することも決して少なくないのである。そもそもアメリカの独立戦争自体そうした自主独立精神の顕れであったが、現実に国土がイギリスに比べて遙かに広大で地域の多様性に富んでいる上、建国前から地域の自治的運営に積極的に関与してきた伝統を踏まえて積極的・実践的に参加しているという実態があるため、アメリカ人の地域に対する愛着や郷土愛は極めて強く、人々の目が州都ましてや首都ワシントンに注がれることなど滅多にないといっても過言ではない」(四三頁)という。

ニューイングランド六州では地域にも国際にも眼が注がれ、ケリーが圧勝した。ブッシュが勝った州では地域について語られながら、国際では愛国心をあおる映像、新聞報道にあふれており人々は力強い指導者を望んだのだ、ということである。

地方政府はおしなべて財政の破綻に瀕し、連邦政府に援助を求め続けている。〇二年八月十八日付けのN・Y・Tでは「仕事がなく多くの若者がピースコーアの呼びかけに惹かれていて」とタイトルをつけ、大学を卒業しても職につけずブッシュの提唱したボランティアに参加する若者を紹介している。首都ワシントンの高校生は通学するとまず、学校の壁の修復作業にとりかかる。全米で最も人口密度が低いワイオミング州では百人に一人が麻薬中毒だと、〇二年十二月八日のN・Y・Tには「田園の貧困」という長大な特集の中で紹介された。こういうものに枚挙のいとまがないのが現在のアメリカの国内状況なのである。

ケリーとブッシュ

この解決に政府として立ち向かおうと闘ったのがケリーであり、それは自治がきちんと根付いている地域で支持された。そしてその精神はアメリカの内部へ内部へと「ケリーの亡霊」という形をとって浸透して行かざるをえないのが、アメリカの自治の伝統というものである。

ゆえに、ブッシュは国際的にはより強硬に単独行動を貫き、これにより自分の首をねじあげざるをえないのである。これに追隨する小泉を我々は醒めた眼で観察しつつ、冷静な行動を起こしていかなばならない。

ニユーイングランド州での各候補の得票率

州名	開票率	ケリー得票率	ブッシュ得票率	ネーダー得票率
コネチカット	九六	五四	四四	—
メイン	八一	五三	四五	—
マサチューセッツ	九九	六二	三七	N・A
ニユー・ハンプシャー	九五	五〇	四九	—
ロード・アイランド	九九	六〇	三九	—
ヴァーモント	九八	五九	三九	—
平均	—	五八・三	四一・二	〇・五

『ヘラルド・トリビューン』誌、二〇〇四年一月四日付より抜粋・作成。単位は%。

日本労働運動の命運をにぎる

— 鉄建公団訴訟闘争に全力支援を —

国鉄闘争は、国鉄の分割・民営化から十七年、清算事業団に解雇されてから十四年を超える歳月をかけて闘われています。日本労働運動再生の命運をにぎっているその国鉄闘争が、いま、最重要局面にさしかかっています。鉄建公団訴訟が大詰めを迎えた局面にあたり、読者のみなさんに全力の支援をお願いします。

鉄建公団訴訟を勝ち抜くしかない。国鉄闘争は、労働委員会の勝利にもかかわらず、九年の東京地裁で逆転敗訴しました。その後、「四党合意」によるごまかし解決の動きがありました。その最高裁判決は、「JR採用時の使用者責任なし」とする一方で、「不当労働行為があったとすれば責任は旧国鉄、次いで清算事業団にある」としたのです。

判決は極めて不当なものです。清算事業団を引き継いだ鉄建公団（現在は鉄道運輸整備機構）に責任を取らせるしかなく、裁判上明確になったのです。解決のためには鉄建公団訴訟しかなく改められて明らかになりました。

国労本部の混迷 ところが、残念なことに国労本部はここに至っても、あくまで「政治解決」を主張しています。「政府の責任での解決を求めている」とし、ILO勧告を「錦の御旗」にしなから、政党・国土交通省・厚生労働省・連合などに解決要請をしています。しかし、ILO勧告には強制力はありません。現に解決に向けた政治の動きはありません。それでも、国労本部は、「裁判は万策尽きてから（政治解決が不可能になってから）」という態度を変えていません。

来春には判決 大詰め迎える鉄建公団訴訟 鉄建公団訴訟は、「不当労働行為の責任」を鉄建公団に取らせ、解雇を撤回させ、年金を回復させる裁判です。最高裁判決の前に始まっていた鉄建公団訴訟は、文書での主張を終えて、すでに個別立証（証人尋問）に入っています。個別立証は午前・午後を通して一日に約十人が証言するもので、すでに十月に二回、十一月四日におこなわれ、十二月二日の一回で終了します。裁判長は来年一月での転

勤が予想されていますが、「二月に転勤しても五月までは判決は出せる」としています。この判決こそ、日本労働運動の命運を握るものです。つまり、組合つぶしを目的にした不当労働行為が「何もおとがめなし」で済まされるのか、全力で闘い抜けば「国でさえも責任をとらされる」かの大きな分かれ目になるからです。もし、「おとがめなし」になつてしまえば、権利侵害された労働者が闘い「立ち上がることは極めて厳しくなります」。

12・1 全国集会の大成を 東京地裁と政府・鉄建公団（鉄道運輸整備機構）に対して、いま、社会的な大きな力を持つていることをはっきりと示さなければなりません。

そのため、十二月一日日比谷野外音楽堂で「鉄建公団訴訟勝利一二・一全国集会」が開催されます。全国から参加体制がつけられる大規模な集会です。

当日午後からの座り込み行動、夜の決起集会、翌日の裁判傍聴行動へ兵庫県からも参加者を募っています。ぜひご参加ください。（詳しくは「兵庫県国労闘争団守る会」電話〇七八―三六一―三六五五まで問い合わせを）

カンパを！ そして、ビデオ上映会を！ この運動を成功させるために、そして極めて厳しい経済状況のなかで闘いつづけている闘争団員と家族の生活を支えるために、資金が必要です。「兵庫県国労闘争団を守る会」は、この年末に大カンパ運動に取り組みます。カンパ袋や呼びかけ文を用意しますので、ぜひ取り組んでください。

また、解雇されても、職場や差別イジメにあつても、闘いの勝利をめざして、家族とともに歩んでいる姿を映し出すビデオ「人らしく生きようパート2」の上映会運動を呼びかけています。十人、二十人でも結構です。ビデオを無料で貸し出しますのでぜひ職場や地域で開催してください。そして、できれば「兵庫県国労闘争団を守る会」の会員（年会費四千円）になってください。

国鉄闘争勝利へ、力を寄せてください。（「兵庫県国労闘争団を守る会」事務局・S）

「これが反合闘争といえるのか」の悩みの中で

― 赤峰さんの巻頭言から ―

「社会通信」にお便りさせていただくのは何年振りでしょうか。十年？それ以上ですか？九一六号の赤峰さんの巻頭言を読ませていただいたのですが、僕は恥ずかしながら、プロ野球選手会長古田氏の行動に唯々拍手を送るだけでした。古田会長と連合会長のやりとりに義憤するなんて思いもよらないことでした。しかしそういうことなんではないでしょうか。

先日所属労働組合の機関会議に出て、合理化に座りこみをするかどうかでちよつとした論争がありました。「僕が座るのは、職場の仲間になぜ座るのかを感じてほしいことと、地域に人に僕が座る姿を見て考えてほしいから」という主旨の発言をしましたが、「何人座る人がいるのか。とても座りきれない」という発言が相次ぎました。

討論の結果を確認しないまま他の用件があつて席を立ちましたが、社会保険事務所へのバッシングをめぐって、「十年前バッシングを受けたが、常に住民とともにいる姿勢であ

れば恐れることはない」という余計な発言までついしてしまい、悩んでいる仲間にもた「余計なことを言ってしまった」という後悔しきりでした。

十年前鹿兒島の水害をめぐって藩政期からの石橋を保存するかどうかで、県民ぐるみの大論争がありました。僕の「保存すべき」との論文が報道されたことで、県当局から猛烈なバッシングがありました。それに抑えこまれて職場ではほとんど孤立し、何事もなしえないまま終わつたのですが、僕の反省は、「果たして住民のために、住民とともに仕事をしてきたんだろうか」ということでした。それ以降自分の業務に対して、常に「住民の意見を聞きながら」というのが僕の日課になったと思います。

公共事業遂行の僕の業務は、付けられた予算の完全消化がすべてです。住民からの抗議や苦情もあります。それに対して僕が答えられることには限度があり、忸怩たる日々が続きます。しかし僕のところは抗議や苦情を寄せてきた住民とはいっしょか友人になり、住民から「元氣を出してください」と励まされること度々です。「これが反合理化闘争と言えるのか」と自問しつつ、住民との対応、住民との共闘？に休日出勤でなんとかしのいでいます。

今は「住民の利益に反することはしない」「地域の環境破壊につながることはしない」というごく平凡なことさえ、多くの壁にぶつつからざるを得ない状態です。「災害対策」の大儀のもとにどれだけ住民が苦しめられ続けているのか、このことを最後まで見届けるつもりです。「これを避けて未来はない」というのが僕の今の気持です。

国鉄闘争への「支援」を時折振り返りつつ、かつての青年政治同盟での「自分だけが落ちり安全地帯」との提言を反芻しつつ、赤峰さんにも、バッシングを受け続けている全国の仲間の皆さんにもがんばってほしいという気持で久しぶりにお便りさせていただきました。

(十月三十一日記、北島 清仁)

◇ 編集部 だより ◇

▽今、ラテンアメリカの政治・経済・社会・文化のおさらいをしています。ラテンアメリカに革命と民族独立の大波が押し寄せたのは一九五九年一月一日のキューバ革命とキューバにおける社会主義的民主主義（プロレタリア民主主義）、社会主義革命の進展でした。

▽キューバはアメリカ国内の「反革命の拠点」、フロリダ州のマイアミからわずか百マイルしかありません。アメリカは何百回、いや何千回も、キューバ庄殺のための陰謀、軍事攻勢、経済封鎖、米州機構・リオ条約をつかった包囲網づくりをおこないました。

▽キューバは屈しませんでした。ソ連の経済援助が絶たれたゴルバチョフ政権以降、キューバは経済的に深刻な打撃をこうむりました。それがいかにかたいへんだったかについて、カストロ首相はアメリカ・ジャーナリストとの対話で率直に語っています。

▽キューバ革命以降、一九七〇年代はじめチリのアェンデ人民戦線政府での社会主義への平和的移行という歴史の実験、あるいは中米諸国における民族独立解放をめざすたかいたが進展しました。▽一九八〇年代はいわゆる債務問題です。ブラジル、アルゼンチン、ペルーといったようにすべての南米大陸の国々が「債務軽減」を求めデフォルト宣言をおこなったのです。IMF、世界銀行が「構造調整」という名の経済干渉を露骨に発効させたのがこの時です。

▽国営企業を民営化し、株式売却益を債務返還にあてさせる、債務を債権化し売却させるといった手法でした。この結果、ラテンアメリカの富は欧州の独占企業群にのっとられてしまいました。▽それらの矛盾が今ラテンアメリカで新たな民族独立運動として現れているのです。乞うご期待！

「こんなことになるなら地震前に死んどけばよかった」

—新潟県中越地震被災地に救援物資を届ける—

本年十月二三日に起こった新潟県中越地震の被災地に、急ぎよ集められた救援物資と買出しも行き、地震から九日たった十一月一日、京都総評宣伝車に物資を満載し、長岡市の避難している方々に届けてきました。

兵庫県北部も含みながら、連日京都府北部風水害被災地へのボランティアに各種各団体や個人が取り組みつつも、阪神淡路大震災の経験から、マスコミが伝えない真実もつかもうと、取り組んだものです。

行政のセクト主義と非常識

ラジオで新潟の地震被災地への救援物資の搬送車は日本政府が指示を出し、各都道府県から高速道路無料通行の証明書を発行することとした。そこで、物資搬送の決定がなされた十月二八日(木)の夕方の翌日朝一番から、京都府へ直接間接の問い合わせを行いました。最初は京都府北部風水害への物資調達をしている係に聞くと「そんなことは知らない」と。仕方なく当該労組から調べてもらったら、「防災室」の担当と言うことがわかりました。しかし、「何でもかんでも証明書を発行するのではなく、来てもらって所定の様式の書類に書いてもらい、しっかりと何時まで行って、何を運んで、どの車で行き、受け入れ相手先の住所・氏名と電話番号も明らかにしてもらって、何を持っていくのか、こちらで相手に電話で確認してからです」とのこと。その上、「京都府北部風水害で担当部局は疲れていますからあんまり手をわずらわさないで下さい」とのこと。

十一月一日(月)朝一番に出発予定のため、十月二九日(金)午後四時を経過していたため、京都府庁にすっ飛んでいって、すんでのところで午後五時の時刻までに通行証を受け取りました。担当係員のセリフが「京都府としては京都府北部風水害への救援をおすすめします」と。だから、それはそれで明日以降も何台もバスを仕立て行き、新潟の状況は深刻だから行くんだと、書類をもらわんがために私としては自分が信じられないくらい大人数しい話し方、「費用がそんなにかかるんですか」とも。京都南ICから長岡ICまで一万五百円片道でかかるんです。その「対策室」はどんな少ない人数で忙しく仕事をしまくっているかと思いきや、何十人もいる広い部屋で、ゆっくりと落ち着いたデスクワークをしているように見受けられました。その責任者が自分から「府北部風水害」とまったく関係ない電話をかけていたことが印象に残りました。

バス水没事故は人災、自治体リストラが元凶

新潟に行く前に京都府での話をもう一つ。誤解なきように言っておきますが、自治体の現場労働者はいへん。リストラされ、どうにもならない事態で、管理者がやるべき指揮もとらずに事故が起こっていきます。台風二三号で、十月二〇日夜「京都府舞鶴市の由良川が氾濫し、国道一七五号で観光バスが水没して三七人が取り残された問題で、道路を管理する京都府中丹東土木事務所(同府綾部市)が、由良川下流に一四年ぶりに出された洪水警報のファックスを翌朝まで放置していたことがわかった」と、十月二九日の朝日新聞大阪本社版は一面で取り上げています。

私が見聞いた人によると二センチのファックスの山の下になっていて、「由良川下流の警報発令は二〇日午後五時四〇分、国土交通省福知山河川国道事務所と舞鶴海洋気象台が決

め、府河川課から中丹東土木事務所河川砂防室や舞鶴市消防本部などにファックスで一斉送信された」（同新聞）が、「この日は事務所に約七〇人の職員がいたが、土砂崩れ現場などへの出勤でいちじ事務所内は一〇人以下になったという。警報を受け、舞鶴市は午後六時一〇分に防災無線で警戒を呼びかけた。一方、同事務所は当初流域の旅館などに電話で問い合わせ、国道に異常はないと判断。八時半頃、舞鶴西署から冠水を知らされるまで現場付近の掲示板に『通行不能』を表示しなかった。最終的に通行止めを表示したのは一〇時四〇分頃。バスは午後八時過ぎには現場ちかくに入っていたとみられる」（同新聞）。

ノウハウを身につけた責任者がきっちり指揮をとっていればこんなことはありえないと経験者は言います。その前段、京都府北部土木事務所がリストラで廃止され、舞鶴に二名配置されているだけで、綾部市という遠隔地からリモコンしていたから起こった人災です。

すぐに食べられる果物、カセットコンロ・ガスが欲しい

さて、救援物資は積み込みだけでも三〇分ばかり、ようやく十一月一日（月）京都市内を出発しました。その前の週の情報では名神高速から北陸自動車道に乗り継ぎ、柏崎インターまでしか通っていないという話が、長岡インターまで通れるとのこと、五、六百キロの道のり、比較的早く行けるかなと最初楽観していました。

そこへかなりの土砂降り、物資満載であまりスピードが出ず、おまけにタンクローリーの横転事故で加賀ICから片山津ICまで一般国道を行かねばならなくなり、渋滞でたいへんな事態。そこへ、睡眠不足で眠たく、前夜にカゼをひいてしまい、もう一人の運転手が高速とバックミラーが見えない場合は運転できない人だと出発してからわかり、本当につらい運転でした。

長岡インターにかるうじて着き、郊外型の道路が整備され、コンビニもお寿司屋もパチンコ屋まで平常通り営業している様をいぶかしげに見ながら、捜し捜して救援物資をおせる場所を見つけたのは午後八時を回っていました。十時間四〇分の強行軍でした。

九年前の阪神淡路大震災とは全く違う雰囲気の間並みでしたが、路地に一步入ると黄色いロープで立入禁止の札がはられた家もあり、同じ市内でも激震地域は全くたいへんでした。すでに真っ暗い状態になっていたので、詳しく市内を見て回ることは出来ませんでした。ポランティアの人に話を聞くと「おばあちゃんの家の片付けを手伝いました、家の中には、窓ガラスが散乱して、米びつからも米があふれかえっていました。片付けを手伝うと『普段は、一人で本当に寂しかった、若い人が来て手伝ってくれたのは本当にうれしい、また来て下さいね』ととても喜んでくれました」とのこと。そして、「裏のがけがいまにも崩れそうで怖いけど行政に言っても来てくれない」とのこと。

山形から来たメンバーは、全壊家屋の家を訪問。「庭先で生活していたおばあちゃん、『要望といわれても何をしたらいいのかわからない』と話します。家が壊れてこれからどうしたらいいのかというおばあちゃんに、最初は言葉を失ってしまいました」と。また、「物資を渡した時に本当に心から喜んでくれて『ありがとう』『ありがとう』って言われてこんなに感謝され、ものすごくうれしかった。だけど、まだまだ困っている人がいると思います。そんな人たちの要望をもっともつと聞いて、こたえてもらいたいです」と千葉から来た労働者は語っています。

「実際に来てみてすさまじさを実感しました。家の車庫で避難生活しているおばあちゃんが、こんなことになるなら地震前に死んどけばよかったとなげいていたのがとても辛く感じました」と、福島から来られたボランティアの人が語っていました。

九年前と同様に、求められる物資は日々かわっていきます。すぐに食べられる果物（みかん・バナナ・ぶどう・トマトなど）、カセットコンロ（とくに詰め替えのガス）、オムツ、肌着、ゴミ袋、カイロや湯たんぽ、天然水、毛布など、被災者の日常生活を支えるような消耗品が好評だとのこと。古着はご遠慮したいとのこと。テレビでも暖かい豚汁やイモ煮が喜ばれていると報じられています。

被害支援法での保障にプラスして、十月三十一日の日曜朝のテレビ討論で「仮設住宅は建設するのに三百万円、取り壊すのに百万円というから、希望者には個人住宅の再建資金にその四百万円を回せないか」と研究者が食い下がっていました。担当両大臣も答えをあいまいにして逃げていました。私たちの運動上の任務は、直接現地に行けなくても、大きなものがあります。

忘れられた被害

大規模余震が今なお続き、すべてに展望を持ってない状態の被災者たち、地震前の台風で雨が蓄積し地盤がゆるんで被害を倍増させたこと、高齢化四〇%の町村もあるなど過疎・高齢化の地域で起こったこと、偶然死者は出していないが新幹線の脱線事故もひき起こしたというような特徴をもつ今次新潟県中越地震と震災。

今なお道路復旧が進んでないところが多いのは（私の郷里は山形で、新潟の一般国道は高速なみの立派なもの、山形県に入るや否やデコボコ道となるが）、全く同様の規格で道路を整備したから、新潟県内の道路と住民が今なお田中角栄・元首相の金儲けの被害にあっているようです。

バス水害事故、兵庫県豊岡市の水害、そして新潟の地震からイラクでの香田さんの殺害そして「楽天」のプロ野球入りと、マスコミ報道は目まぐるしく変わります。

そこで、役所が水に浸かり、介護保険の全ての元データが入っているパソコンの電源も探す暇もなくハサミで線を切断し持ち出したバス水没事故現場南にある大江町の風水害は、最初からマスコミの狙上なのではないかと、バス水害事故のあった地帯の川沿いに二百メートル位の冷蔵庫含めたゴミの山が流れてきて、来春の水田耕作まで撤去・そうじが間に合いないそうにないこと、ドロ水につかってローンの残っている農機具が近くの農協の倉庫に山と積んであるが使用不可とのことなど、マスコミに忘れられた被害がまだ山とあります。

そんなことを考えながら夜中未明の北陸・名神高速を、今度は半分近い六時間一五分で帰ってきました（危険なのでマネしないで下さい）。（稲村 守）

◇ 読者からのおたより ◇

資料送ります 「団結まつり」ご苦勞様でした。R25（無料誌）、ゆとりあん（ウエッジクラブ会員誌）送ります。前誌では「資本論」のすすめ、後誌には「年金問題」が掲載されています。（東京・C）
編集部より 感謝。「資本論」のすすめ、おもしろい。使わせてもらいます。

一気に 今日（十月二十九日）九一六号届きました。一気に読みました。赤峰さんの主張、同感。その前の滝野さんの日本史の中の憲法の歴史、私が小学生の時習ったこと、女学校の入試に出るといわれて暗記させられたことなど考えながら……この号も一気に目を通しました。（いつも大骨しか見ないのに）実は新聞が読みにくくなったので眼鏡を買いました。ウン万円出して。今後も関心をもつてほしいこと、しっかり書いて下さい。（長崎・N）

編集部より 赤峰氏の文章、他の人からも反響あり。今号に掲載。ご一読よろしく。
「やまちゃんだより」など、連日のご活躍、ご苦勞さまで。「やまちゃんだより」一〇月号などを FAXします。またよろしく願います。（岐阜・K）

編集部より こんな「ニュース」、本当に大切。調整手当削減問題の職場討議には組合員の八割

が参加とは驚き。さらに「常に当局が言う言葉がある。『みんな同じではない。頑張っている人、しっかりやっている人が評価されるための』。『そうなのだろうか？不満を持っている人が、いるのではないか。どこでその『がんばり』を、どのように評価してもらえるのだろうか？不信感を持つている人がいるのではないか？やる気が失われつつあるのではないだろうか？』は同感。

驚くなかれ、この投票率！ この春の福山市議選の投票率は五三・七〇%、今回の市長選挙が四八・一九%でした。しかし、ここに驚くべきデータがあります。昨年の十一月衆議院選挙の時の年齢階層別投票率です。ただし五投票区の抽出です。昨年より切つていますが、全市の投票率は五四・四九%でしたが、二〇〜二九歳では男女ともに三〇%を切つていません。とりわけ若い層では二〇〜二四歳では二五%も切つていません。従つてこの年齢層の人たちがこのままの状態が続くとすれば、とにかく悲惨なことになるかねません。私自身の課題でもあります。どう思われま

すか。 (広島・N)

編集部より 米大統領選は前回の四九%から六〇%へ。しかし、学生、若者の投票率は二〇%に

も満たなかったとか。世界共通のようです。

近況報告 五月末で病院を退職してから四カ月ほど、専業主夫業を中心に、地域での世話役活動などをしておりますが、ようやくこの一〇月から、ホームヘルパー一級の受講を開始しました。私

が通う施設は、昔で言う県立職業訓練校がおこなつていて、様々な前歴を持つ幅広い人達が

集まつており、毎日充実した日々を送っています。「ヘルパーの仕事は高齢者のお世話」というイ

メージがありました。実際はそれはほんの一部で、根底にはたとえ障害があつても高齢になつて

も、人として自立しながら豊かな人生を歩む権利があり、それを支援していくのがヘルパーの仕事

なのです。私の人生観にピタッと来る素晴らしい仕事だったので。半年後には現場でまっすは働き、

近い将来自宅での宅老所を作る計画でいます。 (えひめ・O)

編集部より 新たな目標。実現祈ります。

組合の求心力 私の出身は青森で、三回も分裂をくり返した組合。当時の委員長に、「何時まで分裂しているんだ。いいかげんに統一したら」と云うと、「統一は簡単だよ組合の方針を会社側に少し寄せれば明日だつて統一できる、だが、労働組合は労働者の要求を実現する組織だ。ろう方針は勝手に右に寄せられないよ」と云々。彼は運動方針を書くペンを握つたまま、組合の本部で世を去つた。「妥協は、階級性の原則の中で判断されるべきで協調の中で階級性をねじ曲げてはならない」。「組合が会社に不当処分をされた仲間(例えば国労の仲間など)を助けてくれなければ、組合への求心力は失われる」とは、最近の若い仲間たちの言葉。 (神奈川・K)

編集部より 今回はムリなお願ひありがとうございました。

郵政「接遇認定制度」 日本郵政公社が新たに「接遇認定制度」を導入して郵便局窓口や郵便配達

の職員二二万人について接客態度を評価して一〜四級の等級ランクつけするんだそう。そのうえ

職員はその等級を示すバッヂをつけて顧客からもランクが一目でわかるようにするという。品のな

いハナシ。 (北海道・みんな)

編集部より 人間否定、人格否定、人をムシケラのように扱う労務管理。「品がない」ところか、

ハキケがします。

愛子さん 誌代を請求書どおり送金しました。労働金庫は東京労金ではなく中央労金となつており

ました。ところで愛子さんのいなくなつた鹿児島はとても寂しいです。いつまでもこんなことを言

つてはおれないとわかつてはいるのですが、何かにつけて「愛子さん」のいない寂しさを感じてい

ます。八月始めピースサイクルの長崎の人達が例年通り鹿児島に見えました。先日はうちの青年部

のキャンプとちよつとだけ学習会も、これまで通り開催されました。でもこれまでいつもそこに

いた愛子さんが、今はいない！ (鹿児島・N)

編集部より 「愛ちゃん」、本当に愛されていたんですね。私も一度鹿児島にうかがわねばと思

つてはいるのですが。

大阪でも「九条の会」 九月に憲法の改悪に反対して大江健三郎さんなど九名の著名人が呼びかけ

た「九条の会」の大阪講演会があり、当日はスタッフとして手伝いました。平和憲法は私の原点、

そして集団に流されず、個人の思いを大切に活動スタイルは小田実さんから学んだものです。

当日、小田実さん、井上ひさしさん、澤地久枝さんの憲法への確信と思ひ、思わずさうだそうだと

頷いていました。感動的だったのは四千名もの人が集まり、会場よりも外のスピーカーに耳を傾

ける聴衆が多く、拍手や歓声に包まれていたことです。国会は自・公・民の憲法改悪党が九割です

が、国民の中には平和 民主主義、正義感が根強く息づいている、あきらめるなど勇氣を与えてく

れる講演会となりました。 (大阪・山下けい)

編集部より 憲法は権力者を規制する章典。今の時代の「改正」は、権力者が国民、主権者を規

制する法律になってしまいます。